

## 県内の景気動向

概況（2021年2月）

### 景気は、後退している

観光関連では、入域観光客数は前年を下回る

消費関連では、百貨店売上高は前年を下回る

2月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は新型コロナウイルスの影響などで前年を下回り、スーパーは新型コロナウイルス感染拡大に伴う消費マインド低下のほか、前年うるう年による営業日数減少などにより前年を下回った。耐久消費財では、新車販売は新型コロナウイルスの影響でレンタカーの減少が続いたことから前年を下回り、電気製品卸売は業務用製品の減少したことから前年を下回った。

建設関連では、独立行政法人等・その他は増加したことから前年を上回った。建築着工床面積は居住用、非居住用ともに増加したことから前年を上回った。新設住宅着工戸数は持家、貸家、分譲、給与のすべての項目で増加したことから前年を上回った。建設受注額は公共工事、民間工事ともに減少したことから前年を下回った。

観光関連では、入域観光客数は前年を大幅に下回った。国内客、外国客ともに前年を下回った。主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。

総じてみると、消費関連は新型コロナウイルスの影響で弱含んでいること、建設関連は民間工事に一服感がみられ弱含んでいること、観光関連は新型コロナウイルスの影響で悪化しており、県内景気は後退している（2カ月連続）。

### 消費関連

百貨店売上高は、新型コロナウイルスの影響などで、21カ月連続で前年を下回った。スーパー売上高は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う消費マインド低下のほか、前年うるう年による営業日数減少などにより、衣料品、住居関連、食料品が減少したことから、既存店ベースは5カ月ぶりに前年を下回った。全店ベースは5カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、2019年10月の消費税率引上げに伴う反動で軽乗用車などが増加するも、新型コロナウイルスの影響でレンタカーの減少が続き、2カ月ぶりに前年を下回った。電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売で白物家電や空気清浄機、AV商品、エアコンなどは増加したが、業務用製品の減少により、3カ月ぶりに前年を下回った。

先行きは、新型コロナウイルスの影響が一巡するも、しばらく弱含む動きが続くとみられる。

### 建設関連

公共工事請負金額は、国、県、市町村は減少したが、独立行政法人等・その他は増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積（1月）は、居住用、非居住用ともに増加したことから7カ月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数（1月）は、持家、貸家、分譲、給与のすべての項目で増加したことから8カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに減少したことから5カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメントは8カ月連続で前年を下回り、生コンは8カ月連続で前年を下回った。鋼材は鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により一部で単価の上昇がみられるものの、分譲住宅など民間工事の引き合いが弱いことなどから前年を下回り、木材は住宅関連工事向けの出荷減などから前年を下回った。

先行きは、手持ち工事額は引き続き高水準であるものの、民間工事に一服感がみられることから弱含むとみられる。

### 観光関連

入域観光客数は、14カ月連続で前年を下回った。国内客は約8割減少し、外国客は全減となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。主要観光施設入場者数は大幅な減少となった。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに前年を下回った。

先行きは、全世界に感染拡大している新型コロナウイルスの収束時期が不透明であること、東京オリンピック・パラリンピックは外国客の受け入れを断念したことから、外国客が動き出すのは時間を要しよう。一方、国内に目を向けると全国的に一時運用停止となっている GoTo トラベルの再開時期はGW以降となる見込みであること、新型コロナウイルスの感染拡大は全国的に第4波の懸念が出てきていることから、当面は低水準での推移が続くとみられる。

#### 雇用関連

新規求人数（1月）は、前年同月比 17.7%減となり 14 カ月連続で前年を下回った。宿泊業・飲食サービス業や卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率（季調値、1月）は 0.77 倍と、前月より 0.03 ポイント上昇した。完全失業率（季調値、1月）は 3.9%と、前月と同水準だった。

#### その他

消費者物価指数は、光熱・水道、交通・通信などの下落により、前年同月比 0.1%減と 2 カ月ぶりに前年を下回った。

企業倒産は、件数が 6 件で前年同月を 2 件上回った。負債総額は 4 億 5,400 万円で、前年同月比 14.3%減となった。

## りゅうぎん調査（2021年2月）

	増減率(%)	
	前年同月比	前年同期比 (2020.12-2021.2)
<b>1. 消費関連</b>		
(1) 百貨店(金額)	▲ 22.6	▲ 26.0
(2) スーパー(既存店)(金額)	▲ 2.0	0.3
(3) スーパー(全店)(金額)	0.1	2.3
(4) 新車販売(台数)	▲ 15.6	▲ 4.8
(5) 電気製品卸売(金額)	▲ 6.1	2.7
<b>2. 建設関連</b>		
(1) 公共工事請負金額(金額)	5.8	▲ 5.5
(2) 建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(1月) 43.5	(11-1月) ▲ 10.9
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(1月) 19.1	(11-1月) ▲ 19.1
(4) 建設受注額(金額)	P▲106.5	P84.7
(5) セメント(トン数)	▲ 21.7	▲ 16.1
(6) 生コン(m <sup>3</sup> )	▲ 25.1	▲ 15.5
(7) 鋼材(金額)	▲ 23.5	▲ 16.2
(8) 木材(金額)	▲ 7.4	▲ 7.5
<b>3. 観光関連</b>		
(1) 入域観光客数(人数)	▲ 79.9	▲ 71.6
うち外国客数(人数)	▲ 100.0	▲ 100.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P▲48.8 (実数) P14.8	(前年同期差) P▲42.2 (実数) P21.8
(3) " 売上高(金額)	P▲80.9	P▲67.0
(4) 観光施設入場者数(人数)	P▲76.5	P▲74.4
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 19.9	▲ 13.0
(6) " 売上高(金額)	▲ 41.8	▲ 28.7
<b>4. その他</b>		
(1) 県内新規求人数(人数)	(1月) ▲ 17.7	(11-1月) ▲ 23.0
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数、1月) 0.77	(実数、11-1月) 0.76
(3) 消費者物価指数(総合)	▲ 0.1	▲ 0.2
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 2	(前年同期差) 4
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(1月) ▲ 6.7	(11-1月) ▲ 11.3

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

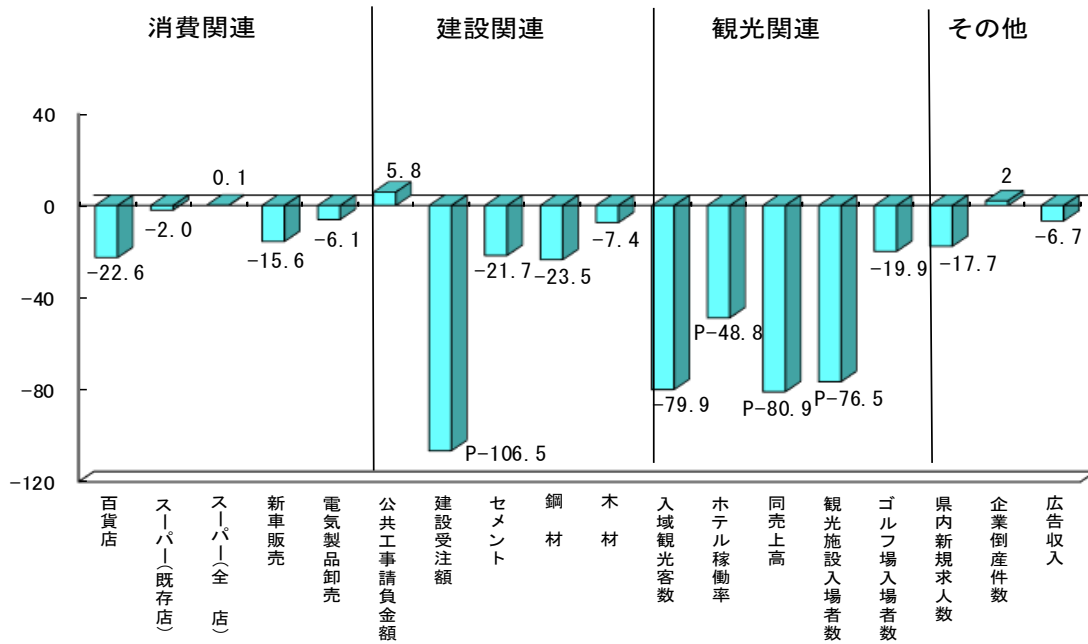
(注4) 主要ホテルは、2019年8月より調査先を25ホテルから28ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

(注6) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

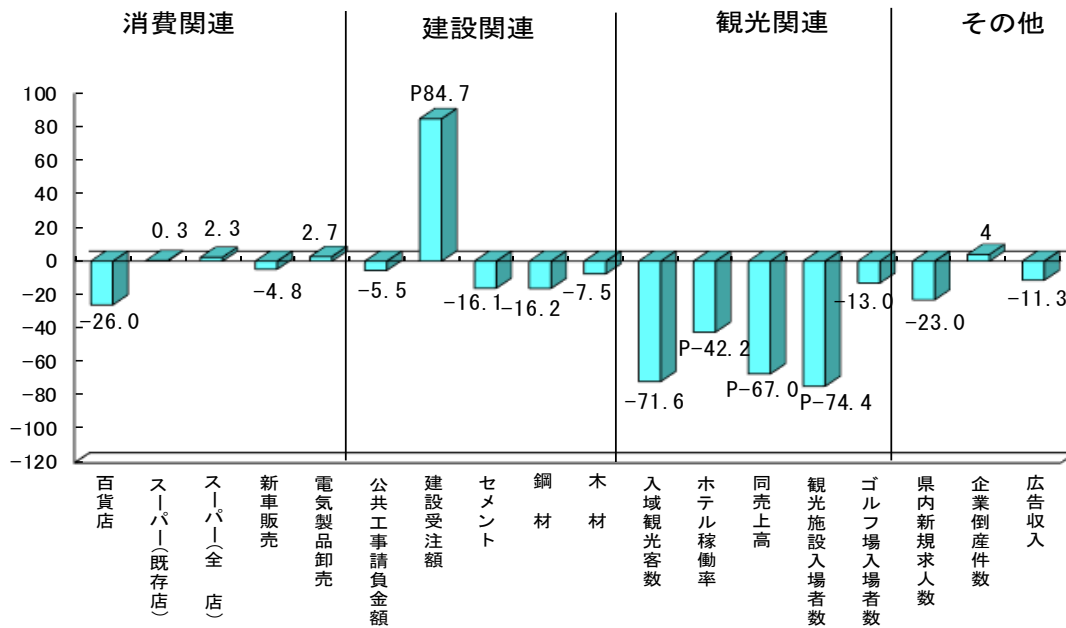
(注7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2021年2月)



(注) 広告収入は21年1月分。数値は前年比(%)。Pは速報値。  
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

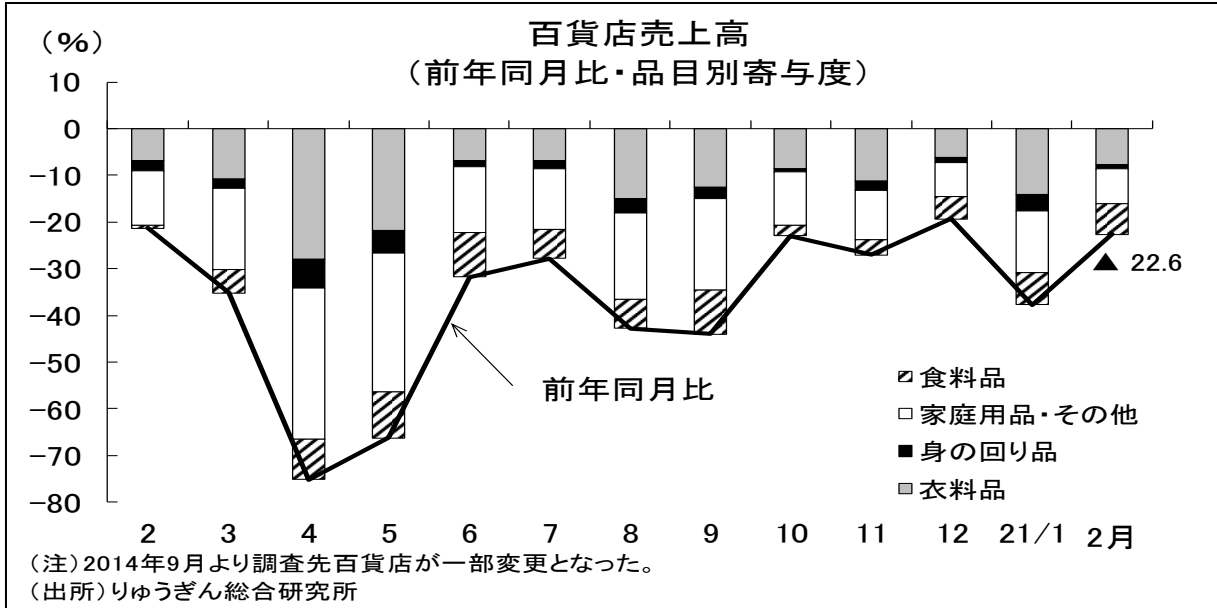
項目別グラフ(3カ月、2020年12月～2021年2月)



(注) 広告収入は20年11月～21年1月分。数値は前年比(%)。  
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

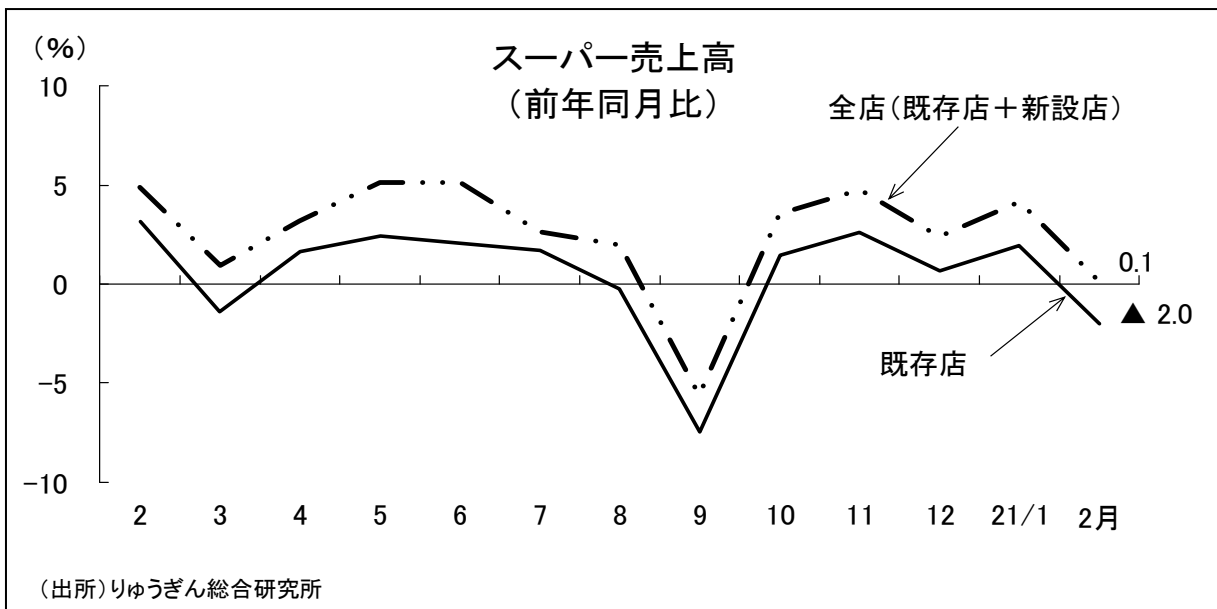
# 1. 消費関連

## (1) 百貨店売上高：21カ月連続で減少



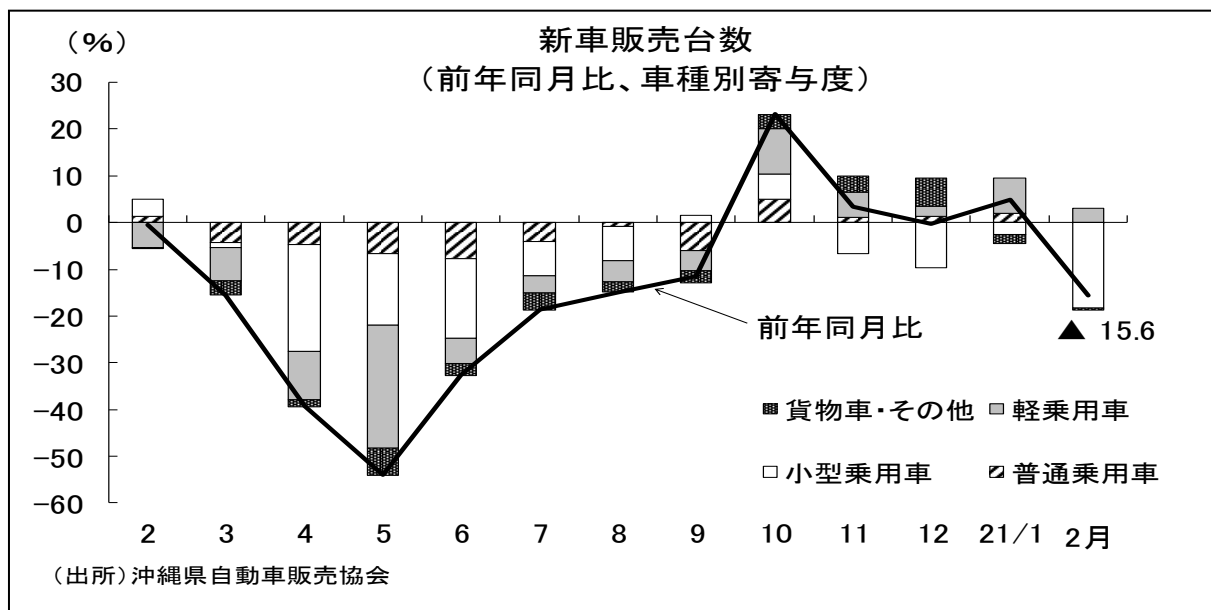
- 百貨店売上高は、前年同月比 22.6%減と 21 カ月連続で前年を下回った。新テナント開店や改装などで集客を図るも、新型コロナウイルス感染再拡大に伴う 1 月 20 日から 2 月 28 日までの県独自の緊急事態宣言発出により、消費マインドが低下し、減少が継続した。
- 品目別にみると、衣料品 (同 27.1%減)、家庭用品・その他 (同 22.9%減)、食料品 (同 19.8%減)、身の回り品 (同 14.5%減) が減少した。

## (2) スーパー売上高：全店ベースは5カ月連続で増加



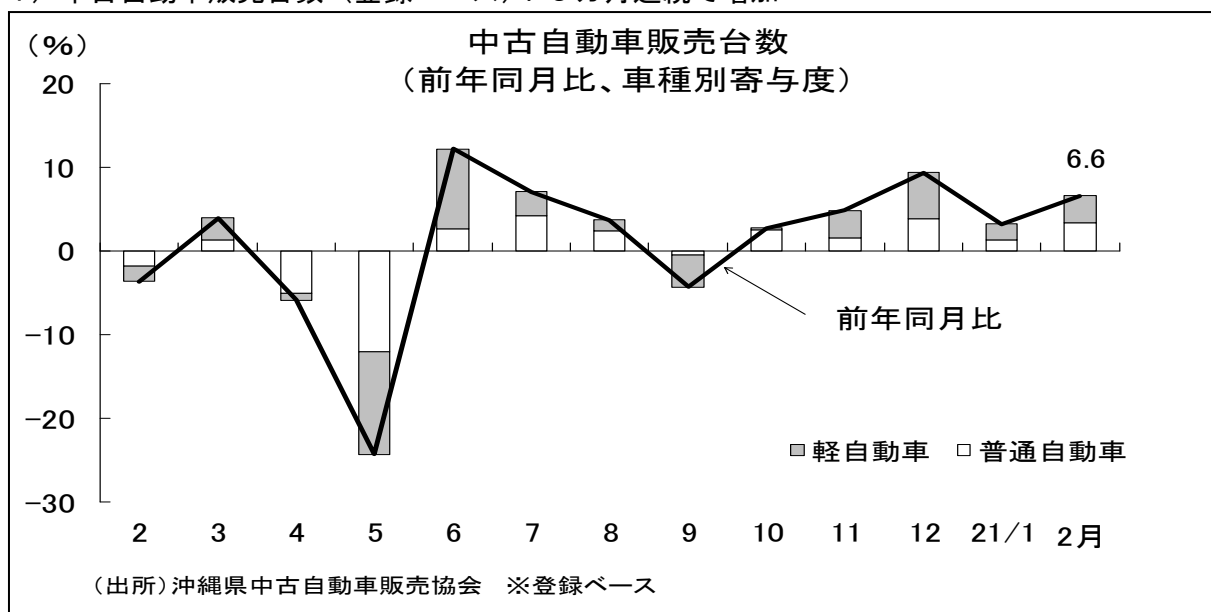
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 2.0%減と 5 カ月ぶりに前年を下回った。
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う消費マインド低下などにより衣料品は同 16.9%減となり、住居関連は同 4.0%減となった。食料品は巣ごもり需要の継続がみられるも、前年うるう年による営業日数減少などにより同 0.6%減となった。
- 全店ベースでは、同 0.1%増と 5 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：2カ月ぶりに減少



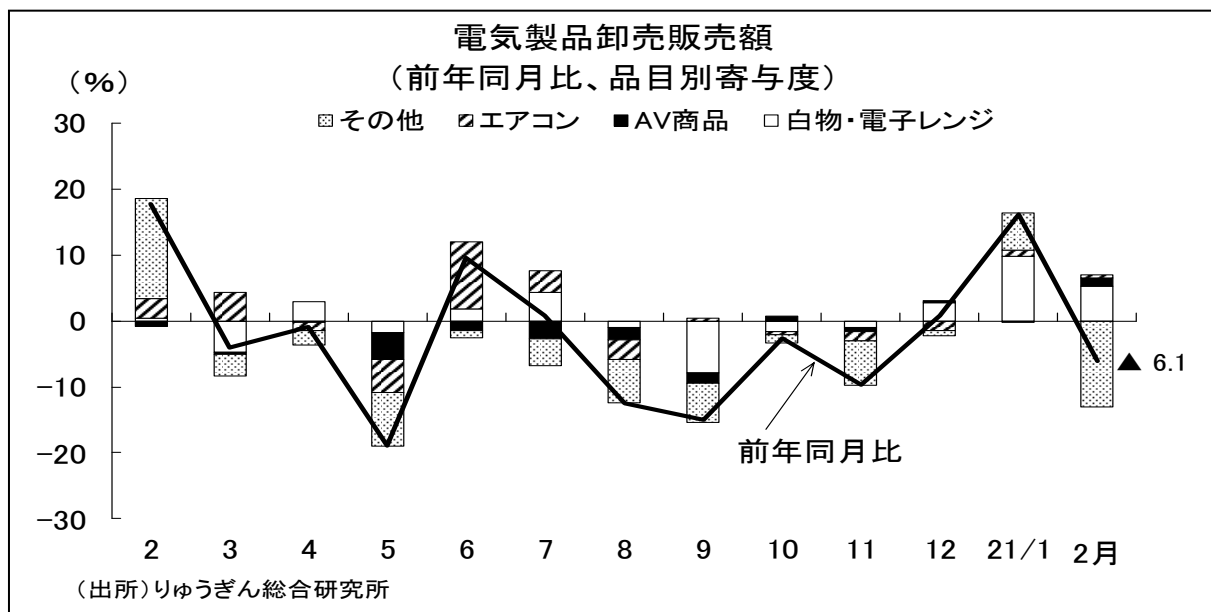
- ・新車販売台数は3,745台となり、前年同月比15.6%減と2カ月ぶりに前年を下回った。2019年10月の消費税率引上げに伴う反動などで軽乗用車などが増加するも、新型コロナウイルスの影響でレンタカー需要の減少が続き、小型乗用車などが減少したことで、前年を下回った。
- ・普通自動車(登録車)は1,513台(同35.8%減)で、うち普通乗用車は675台(同0.4%減)、小型乗用車は604台(同57.3%減)であった。軽自動車(届出車)は2,232台(同7.4%増)で、うち軽乗用車は1,824台(同8.1%増)であった。

(4) 中古自動車販売台数(登録ベース)：5カ月連続で増加



- ・中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は1万9,388台で前年同月比6.6%増と、5カ月連続で前年を上回った。
- ・内訳では、普通自動車は7,442台(同8.9%増)、軽自動車は11,946台(同5.2%増)となった。

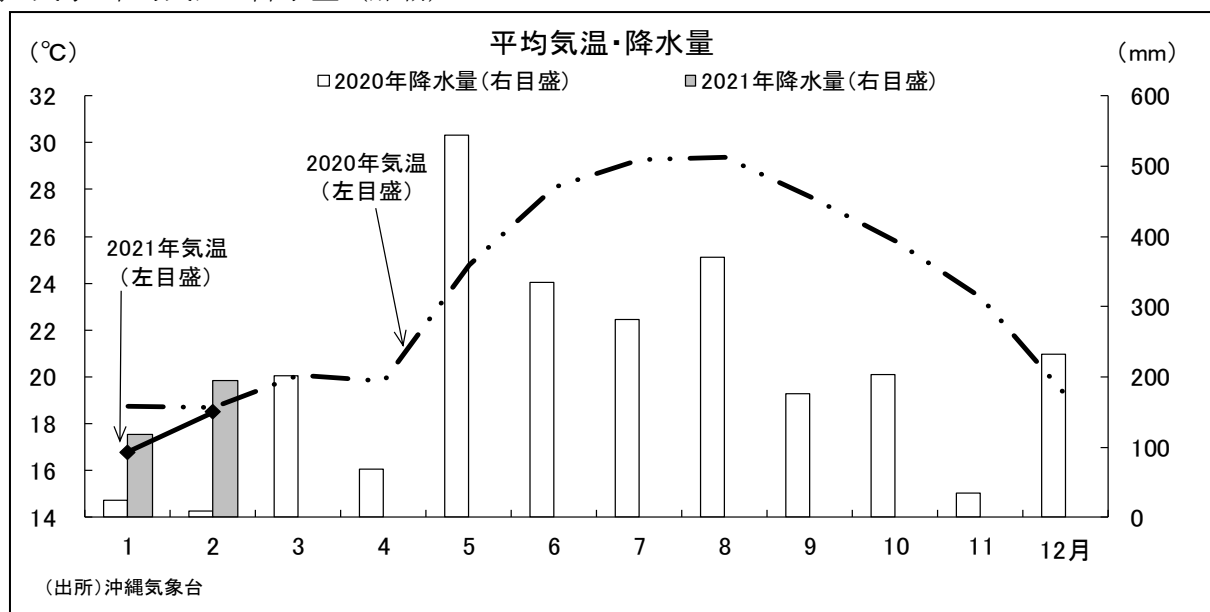
(5) 電気製品卸売販売額：3カ月ぶりに減少



- ・電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売で白物家電や空気清浄機、AV商品、エアコンなどは増加したが、業務用製品の減少により、前年同月比6.1%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではBDレコーダーが同28.5%増、テレビが同13.0%増、エアコンが同3.0%増、白物では冷蔵庫が同22.9%増、洗濯機が同21.2%増、その他は同24.8%減となった。

(参考)

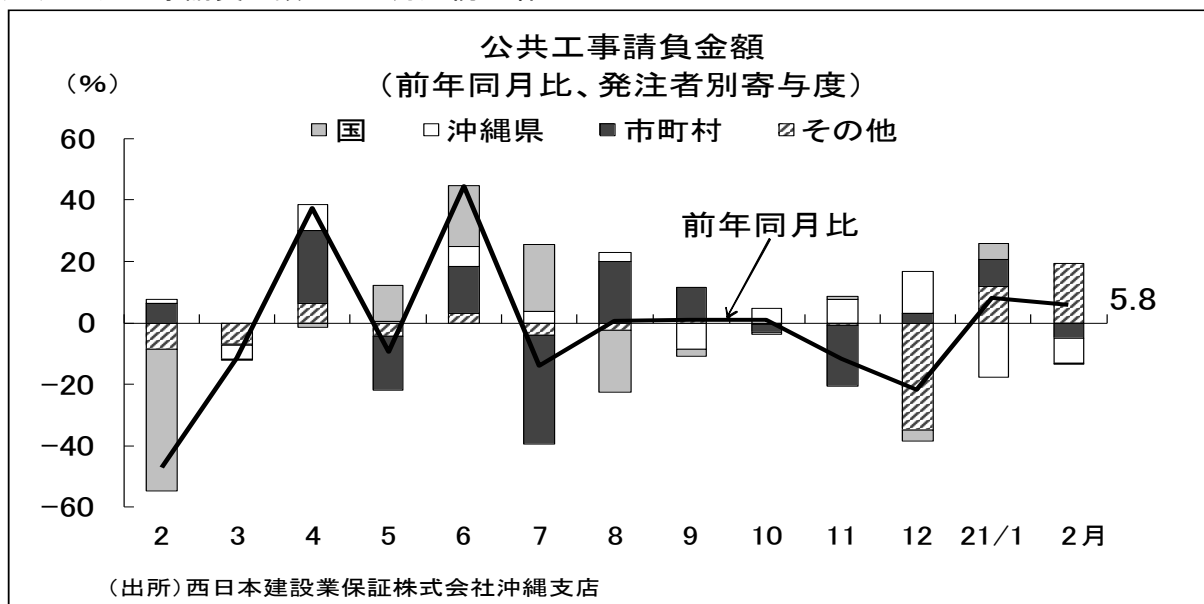
◇ 気象:平均気温・降水量 (那覇)



- ・平均気温は18.5℃となり、前年同月(18.7℃)より低く、平年(17.1℃)より高かった。降水量は194.5mmで前年同月(9.5mm)より多かった。
- ・高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、低気圧や前線などの影響で曇りや雨の日もあり、大雨や大荒れとなった所があった。平均気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年よりかなり多かった。

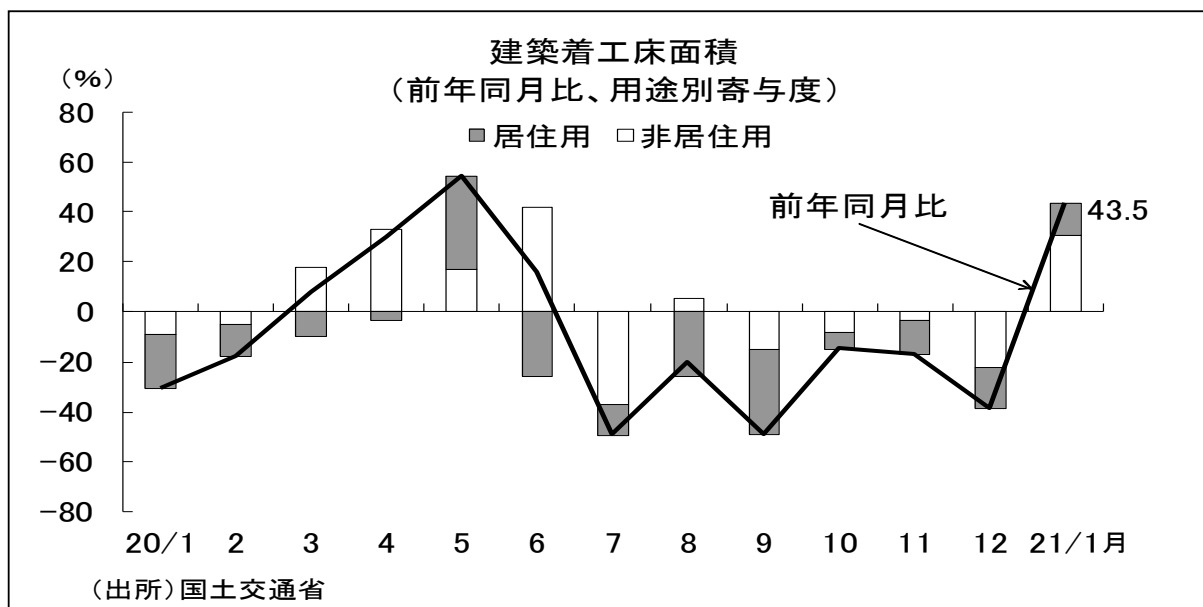
## 2. 建設関連

### (1) 公共工事請負金額：2カ月連続で増加



- 公共工事請負金額は、154億4,889万円であり、国、県、市町村は減少したが、独立行政法人等・その他は増加したことから前年同月比5.8%増となり、2カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、独立行政法人等・その他(同1,875.9%増)は増加し、国(同1.1%減)、県(同40.2%減)、市町村(同13.2%減)は減少した。

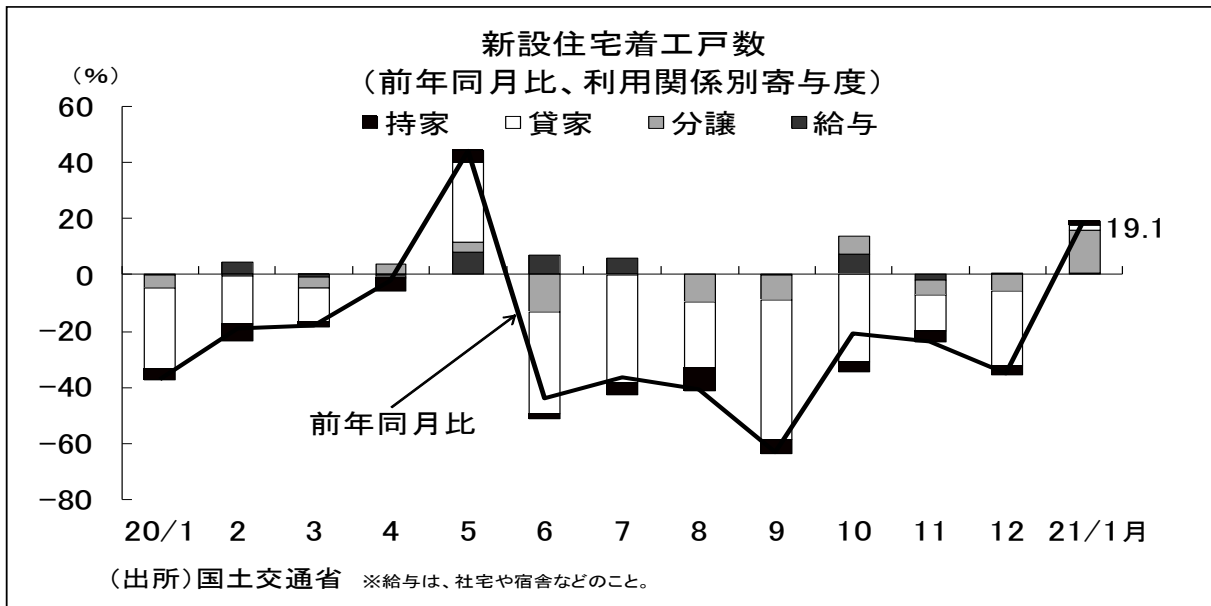
### (2) 建築着工床面積：7カ月ぶりに増加



- 建築着工床面積(1月)は12万1,329㎡となり、居住用、非居住用ともに増加したことから前年同月比43.5%増と7カ月ぶりに前年を上回った。用途別では、居住用は同20.6%増となり、非居住用は同81.2%増となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに増加した。非居住用では、卸売・小売業用や公務用などが増加し、飲食店・宿泊業用などが減少した。

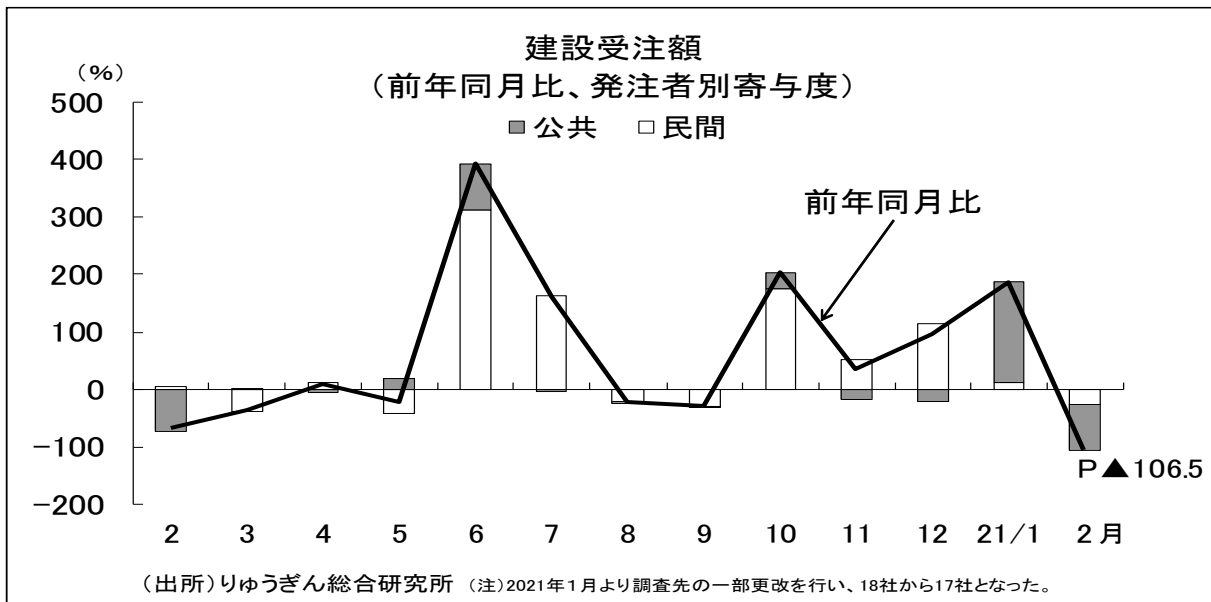


(3) 新設住宅着工戸数：8カ月ぶりに増加



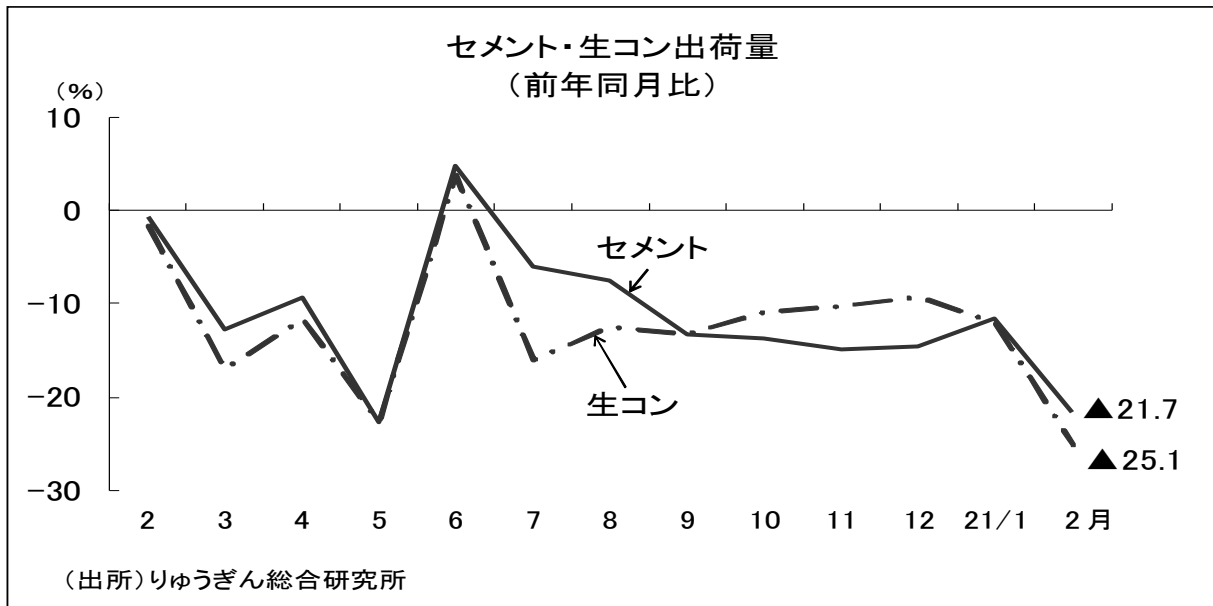
- ・新設住宅着工戸数（1月）は798戸となり、持家、貸家、分譲、給与のすべての項目で増加したことから前年同月比19.1%増と8カ月ぶりに前年を上回った。
- ・利用関係別では、持家（192戸）が同5.5%増、貸家（395戸）が同2.9%増、分譲（207戸）が同99.0%増、給与（4戸）が全増と増加した。

(4) 建設受注額：5カ月ぶりに減少



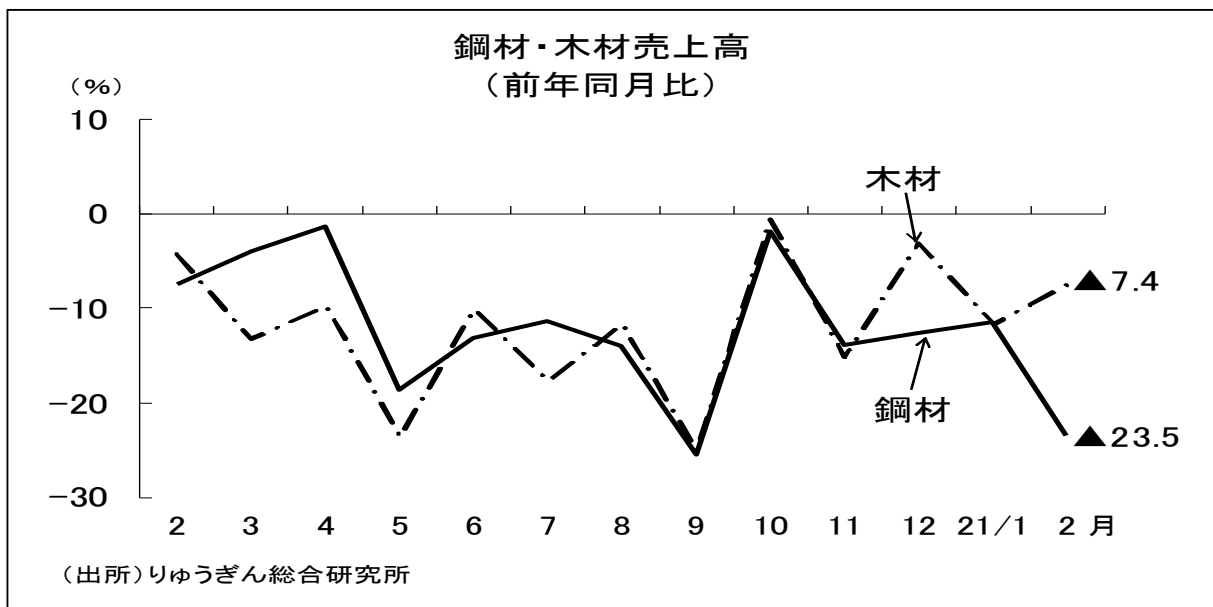
- ・建設受注額（調査先建設会社：17社、速報値）は、公共工事、民間工事ともに減少したことから、前年同月比106.5%減と5カ月ぶりに前年を下回った。
- ・発注者別では、公共工事（同199.8%減）は2カ月ぶりに減少し、民間工事（同43.1%減）は5カ月ぶりに減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは8カ月連続で減少、生コンは8カ月連続で減少



- ・セメント出荷量は6万3,004トンとなり、前年同月比21.7%減と8カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は10万8,169 m<sup>3</sup>で同25.1%減となり、8カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、海事工事向けなどが増加し、公共施設向けや米軍工事向けなどが減少した。民間工事では、一般土木向けなどが増加し、貸家向けや商業施設向けなどが減少した。

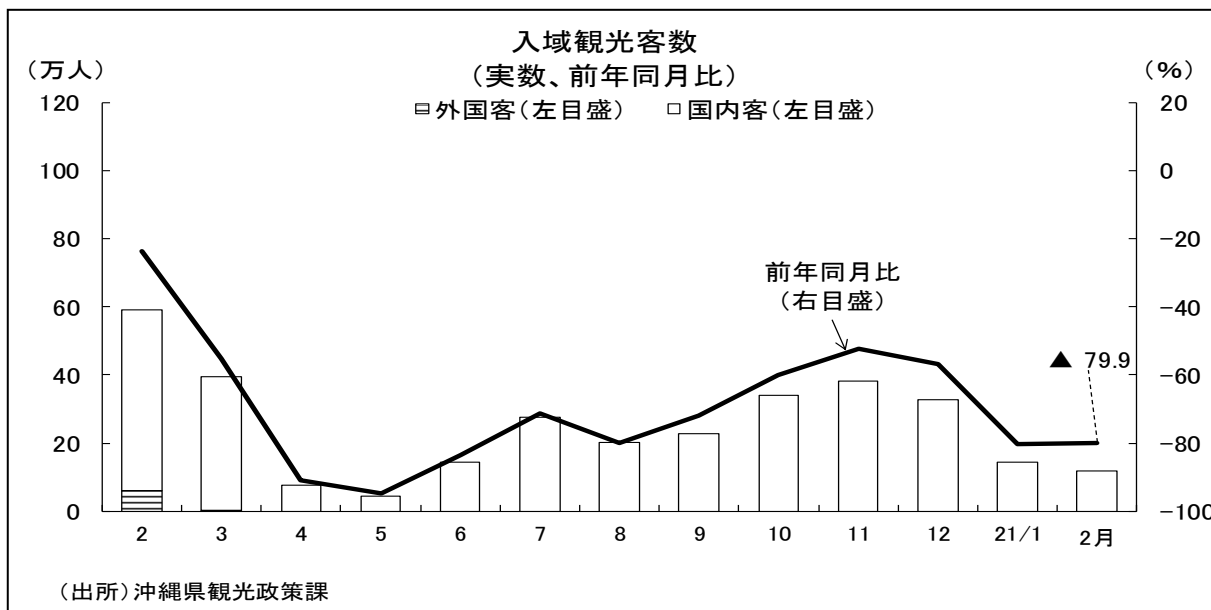
(6) 鋼材・木材：鋼材は17カ月連続で減少、木材は15カ月連続で減少



- ・鋼材売上高は、鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により一部で単価の上昇がみられるものの、分譲住宅など民間工事の引き合いが弱いことなどから前年同月比23.5%減と17カ月連続で前年を下回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向けの出荷が減少したことなどから同7.4%減と15カ月連続で前年を下回った。

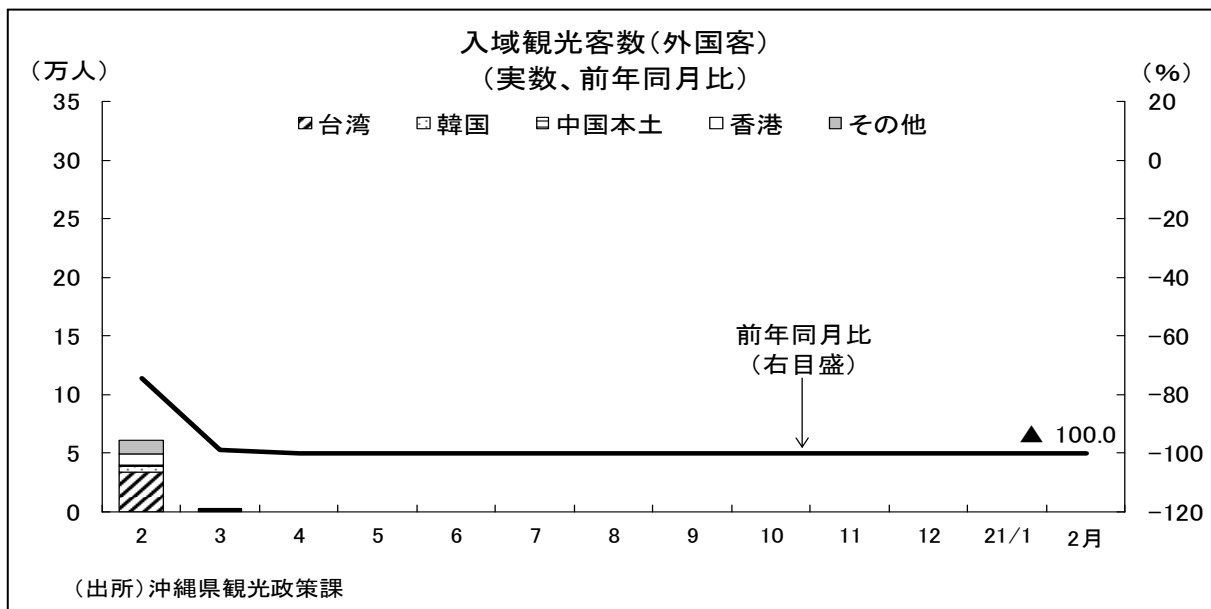
### 3. 観光関連

#### (1) 入域観光客数：14カ月連続で前年を下回る



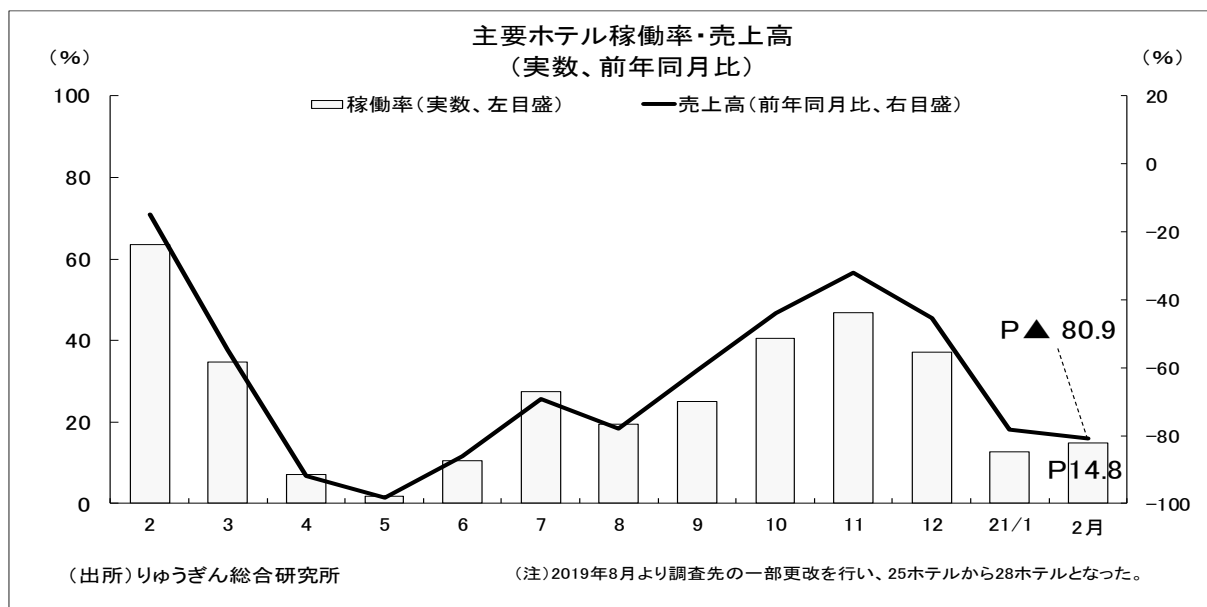
- ・入域観光客数は、11万8,800人（前年同月比79.9%減）となり、14カ月連続で前年を下回った。
- ・路線別では、空路は11万8,400人（同79.5%減）となり19カ月連続で前年を下回った。海路は400人（同96.7%減）となり14カ月連続で前年を下回った。
- ・国内客は、11万8,800人（同77.6%減）となり、13カ月連続で前年を下回った。
- ・GoTo トラベルが全国で一時運用停止となったことや、政府が10都府県に対して緊急事態宣言を発出した影響で、2020年4月、5月に次ぐ低い水準となった。

#### (2) 入域観光客数（外国客）：14カ月連続で前年を下回る



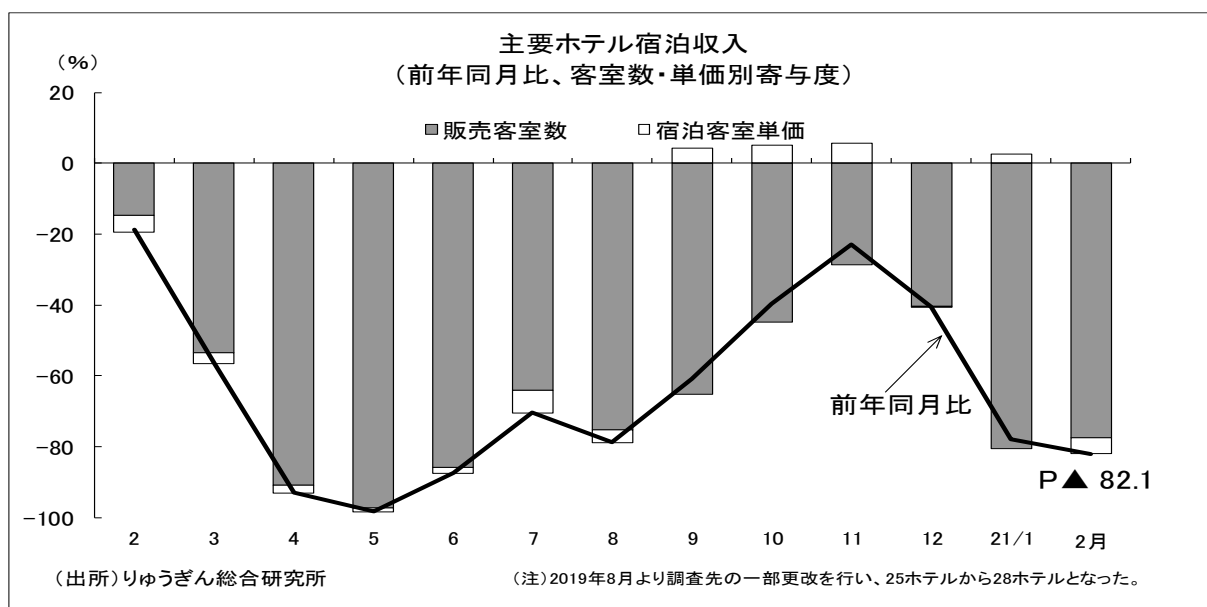
- ・入域観光客数（外国客）は、0人（前年同月比全減）となり、14カ月連続で前年を下回った。
- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、県内を発着する航空便およびクルーズ船がすべて欠航となったことから、2020年4月以降11カ月連続で全減となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は19カ月連続で低下、売上高は21カ月連続で減少



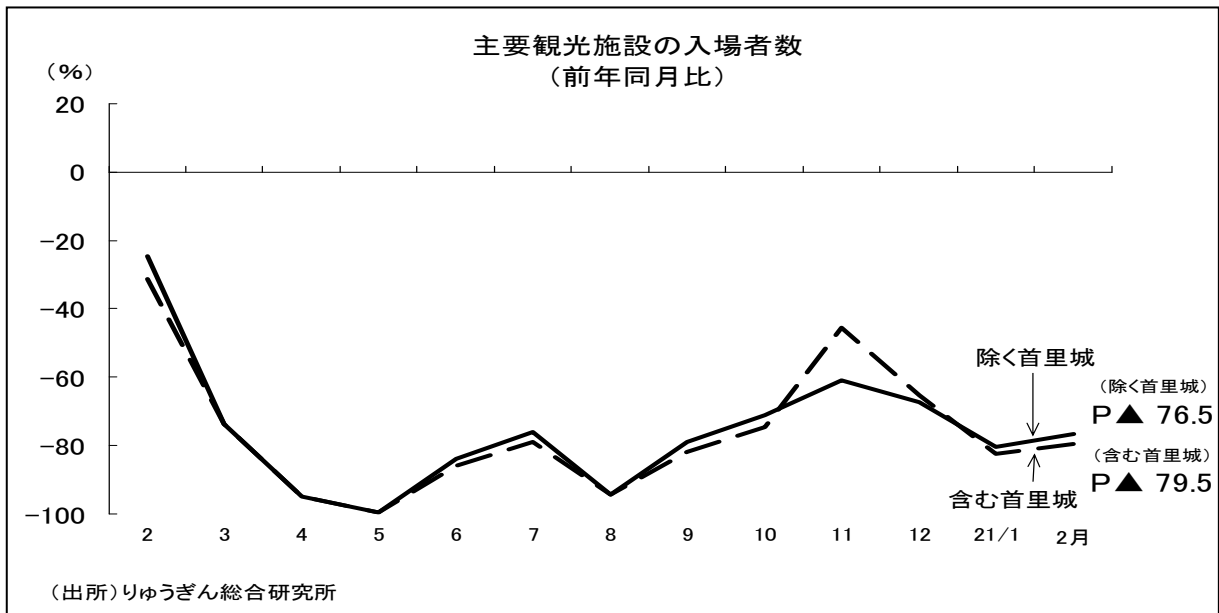
- ・主要ホテル（速報値）は、客室稼働率は14.8%となり、前年同月差48.8%ポイント低下して19カ月連続で前年を下回った。売上高は同80.9%減と21カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテルは、客室稼働率は18.3%と同53.0%ポイント低下して19カ月連続で前年を下回り、売上高は同77.8%減と20カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテル（速報値）は、客室稼働率は13.3%と同47.1%ポイント低下して13カ月連続で前年を下回り、売上高は同82.0%減と21カ月連続で前年を下回った。
- ・GoTo トラベルが全国で一時運用停止となったことや、政府が10都府県に対して緊急事態宣言を发出した影響で、2020年4月、5月に次ぐ低い水準となった。

(4) 主要ホテル宿泊収入：20カ月連続で減少



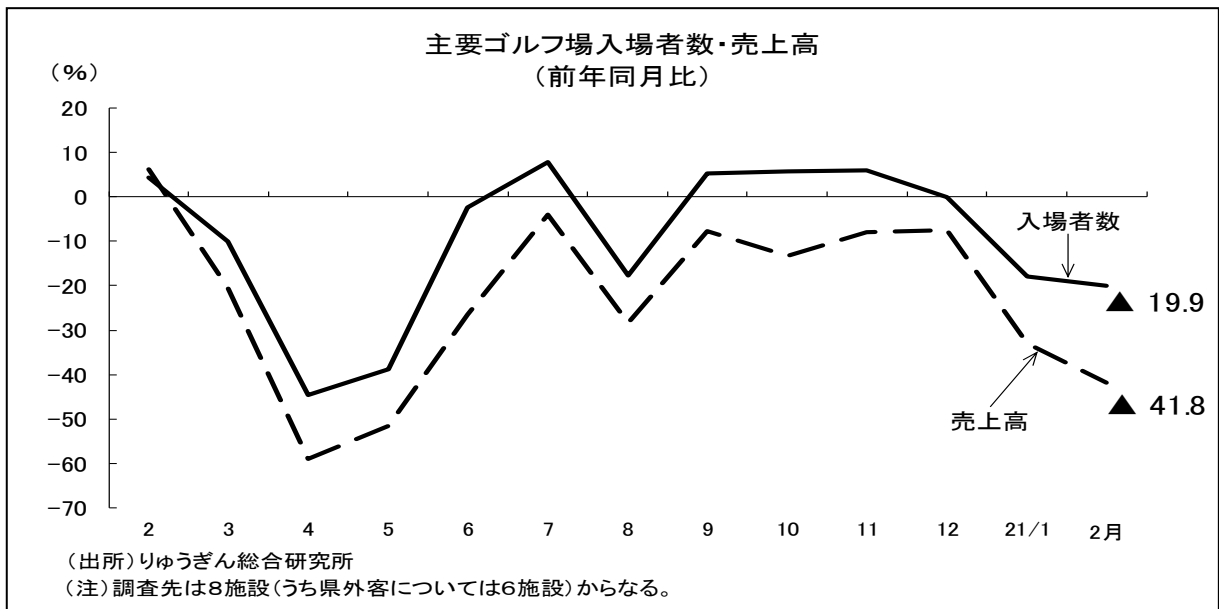
- ・主要ホテル売上高（速報値）のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）、宿泊客室単価（価格要因）ともに低下し、前年同月比82.1%減と20カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同79.3%減と19カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテル（速報値）は、販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同83.1%減と13カ月連続で前年を下回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：19カ月連続で減少



- 主要観光施設の入場者数（除く首里城、速報値）は、前年同月比76.5%減となり、19カ月連続で前年を下回った。
- 首里城を含むベースは、同79.5%減となり、19カ月連続で前年を下回った。
- GoTo トラベルが全国で一時的運用停止となったことや、政府が10都府県に対して緊急事態宣言を発出した影響で、引き続き大幅な減少となった。

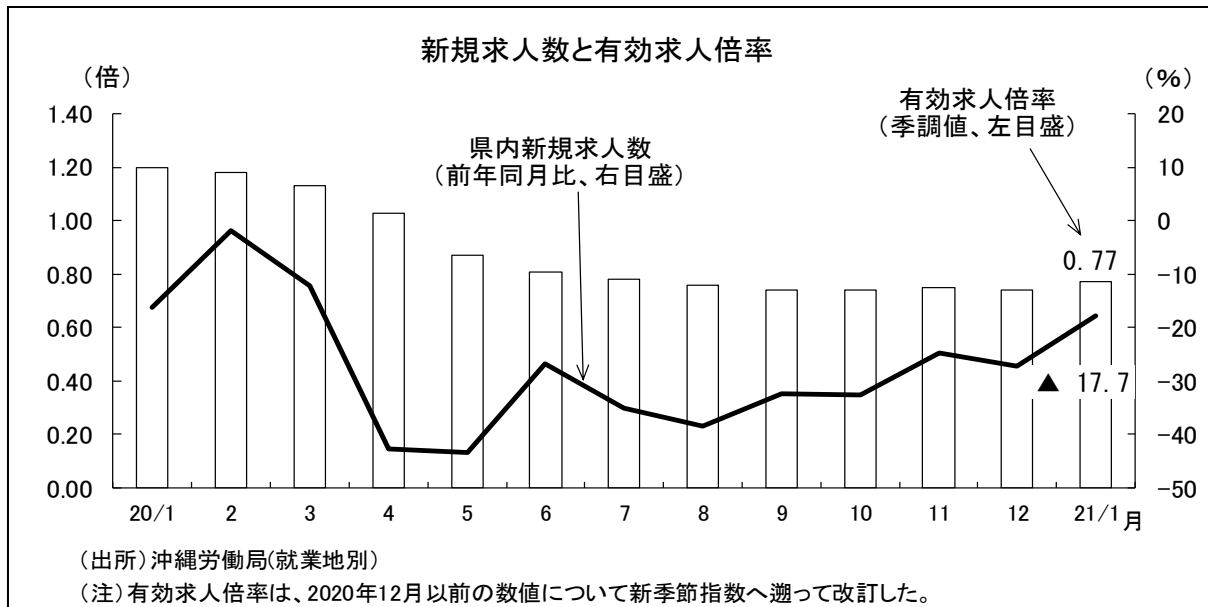
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに減少



- 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比19.9%減と2カ月連続で前年を下回った。県内客は2カ月連続で前年を下回り、県外客は15カ月連続で前年を下回った。
- 売上高は同41.8%減と12カ月連続で前年を下回った。
- 沖縄県独自の緊急事態宣言発出により県内客の利用も減少した影響で入場者数は減少に転じた。県内客の減少に加え、県外客の利用も減少し客単価が低下したこと、レストハウスでの飲食の利用が減少したことから、売上高の減少幅は拡大した。

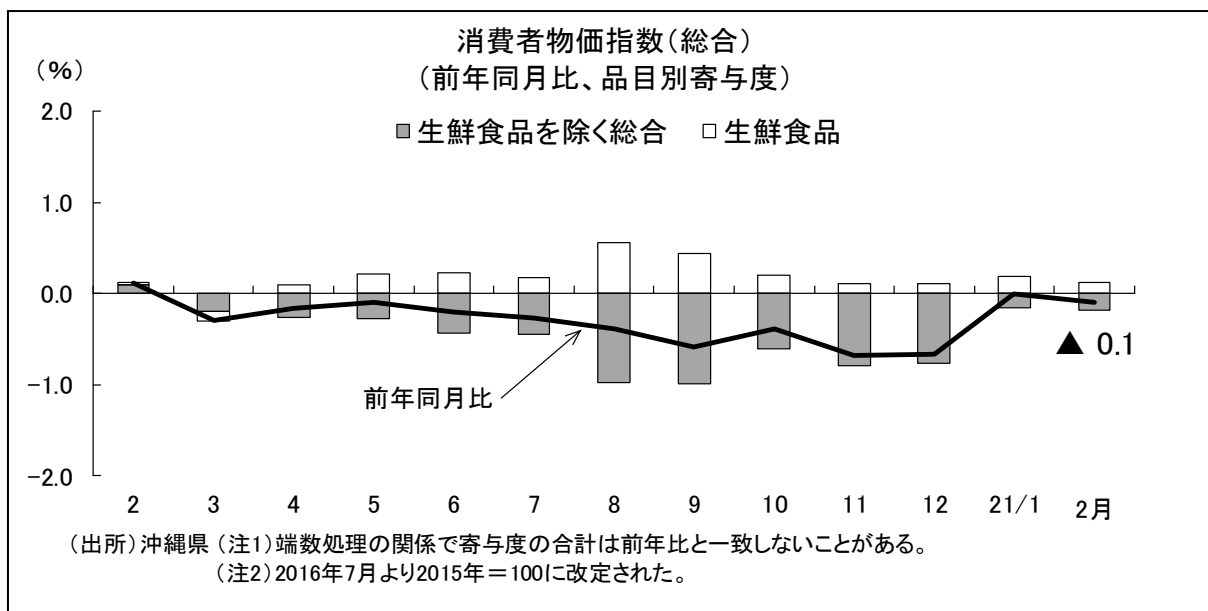
## 4. その他

### (1) 雇用関連(再掲)：新規求人数は減少、有効求人倍率(季調値)は上昇



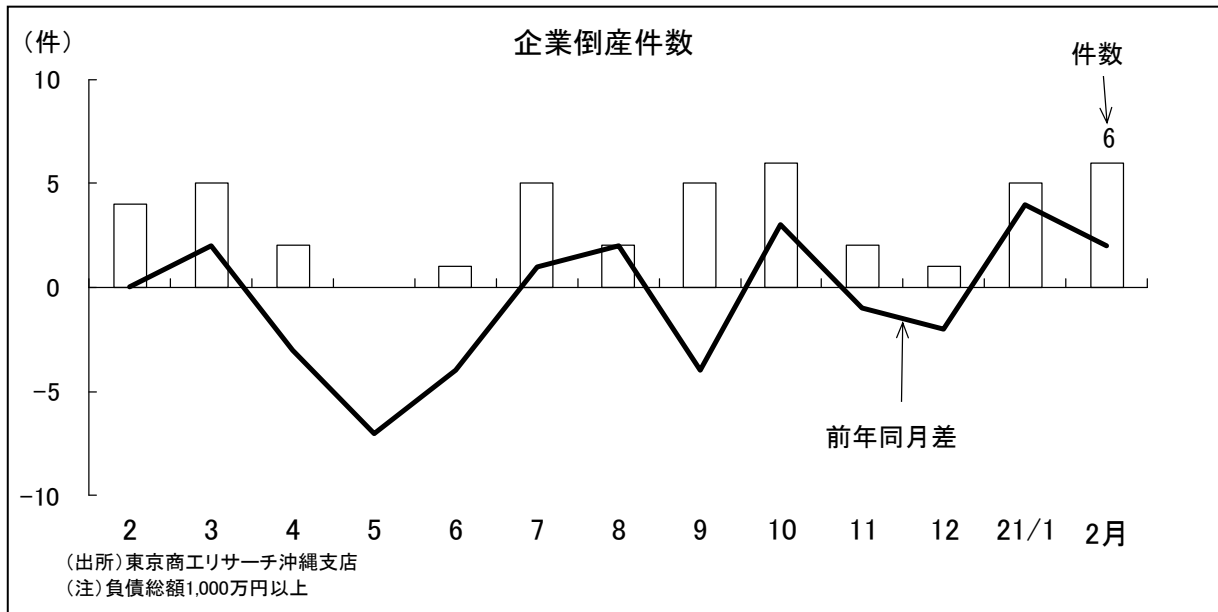
- ・新規求人数(1月)は、前年同月比17.7%減となり14カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業や卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率(季調値、1月)は0.77倍と、前月より0.03ポイント上昇した。
- ・労働力人口(1月)は、75万7,000人で同0.4%減となり、就業者数(1月)は、73万人で同0.9%減となった。完全失業者数(1月)は2万7,000人で同17.4%増となり、完全失業率(季調値、1月)は3.9%と、前月と同水準だった。

### (2) 消費者物価指数：2カ月ぶりに下落



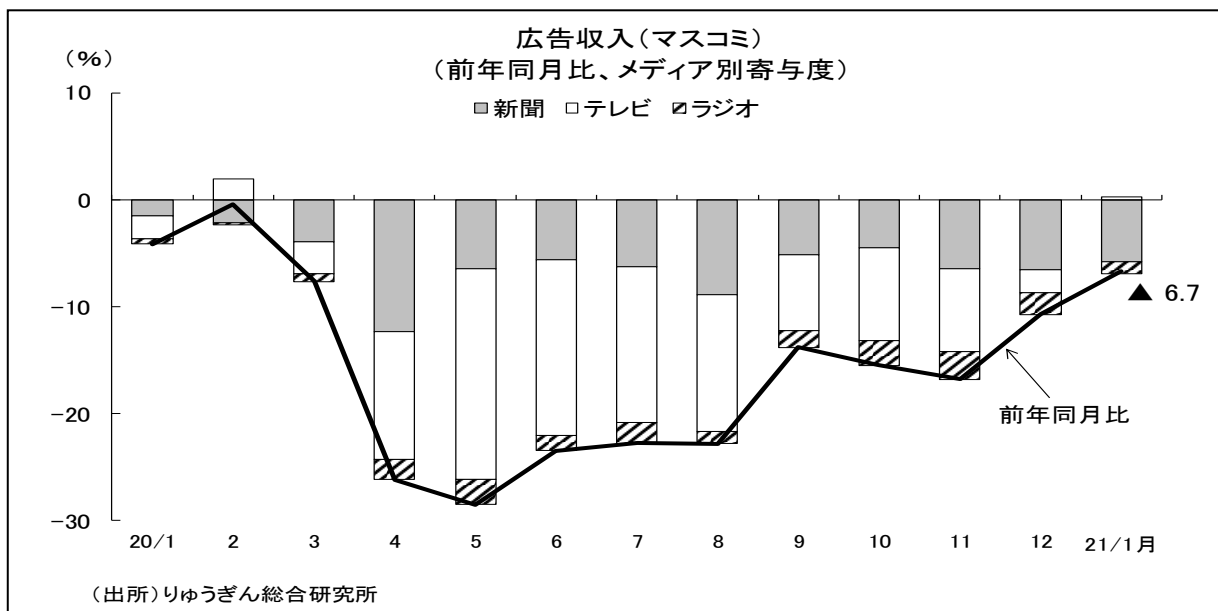
- ・消費者物価指数は、前年同月比0.1%減と2カ月ぶりに前年を下回った。生鮮食品を除く総合は同0.2%減と前年を下回った。
- ・品目別の動きをみると、住居などは上昇し、光熱・水道、交通・通信などは下落した。

(3) 企業倒産：件数は増加、負債総額は減少



- ・倒産件数は、6件で前年同月を2件上回った。業種別では、卸売業2件（同1件増）、運輸業1件（同1件増）、情報通信業1件（同1件増）、サービス業2件（同2件増）となった。
- ・負債総額は4億5,400万円となり、前年同月比14.3%減となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：17カ月連続で減少



- ・広告収入（マスコミ：1月）は、前年同月比6.7%減と17カ月連続で前年を下回った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大でイベントなどの中止が相次いでいることから、前年を下回る状況が続いている。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19



## 沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2018	1.9	▲ 0.6	1.7	▲ 4.5	5.9	▲ 0.7	346,669	▲ 1.3	2,293	1.9
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	11.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	▲ 2.8	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
2020 1	▲ 9.3	▲ 0.7	1.5	1.9	▲ 7.3	0.9	15,144	1.3	85	▲ 30.7
2	▲ 21.3	3.1	4.9	17.7	▲ 0.5	▲ 3.7	14,601	▲ 47.5	113	▲ 17.7
3	▲ 35.2	▲ 1.4	0.9	▲ 4.1	▲ 15.5	3.9	35,684	▲ 11.7	175	8.0
4	▲ 75.1	1.6	3.2	▲ 0.9	▲ 39.3	▲ 5.9	23,377	37.2	176	30.0
5	▲ 66.2	2.5	5.2	▲ 18.9	▲ 54.0	▲ 24.3	19,042	▲ 9.5	136	54.2
6	▲ 31.7	2.1	5.1	9.5	▲ 32.7	12.2	29,970	44.5	161	16.1
7	▲ 27.9	1.7	2.6	0.8	▲ 18.7	7.1	44,577	▲ 14.1	126	▲ 49.3
8	▲ 42.7	▲ 0.3	2.0	▲ 12.4	▲ 14.9	3.7	30,333	0.3	147	▲ 20.4
9	▲ 44.0	▲ 7.5	▲ 5.6	▲ 15.0	▲ 11.4	▲ 4.3	32,749	0.7	99	▲ 49.2
10	▲ 23.0	1.5	3.6	▲ 2.7	23.1	2.7	26,886	0.7	140	▲ 14.7
11	▲ 27.0	2.6	4.7	▲ 9.7	3.3	4.8	18,076	▲ 12.0	113	▲ 17.0
12	▲ 19.3	0.6	2.4	0.8	▲ 0.2	9.4	17,672	▲ 21.9	84	▲ 38.6
2021 1	▲ 37.7	2.0	4.1	16.1	4.9	3.2	16,342	7.9	121	43.5
2	▲ 22.6	▲ 2.0	0.1	▲ 6.1	▲ 15.6	6.6	15,448	5.8	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2018	16,803	1.3	9.3	▲ 1.8	▲ 4.2	2.7	10.6	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 2.4
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 11.9	0.3	1.4	4.0	7.2	0.8	▲ 0.2	▲ 2.2
2020	10,703	▲ 29.1	3.1	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 71.6	▲ 6.8	▲ 15.7
2020 1	670	▲ 37.4	▲ 73.8	▲ 6.9	▲ 0.9	▲ 14.0	▲ 0.8	▲ 14.1	3.5	▲ 4.1
2	884	▲ 19.1	▲ 67.8	▲ 0.7	▲ 1.6	▲ 7.5	▲ 4.3	▲ 24.5	4.4	▲ 0.4
3	1,094	▲ 18.4	▲ 36.8	▲ 12.8	▲ 17.0	▲ 4.0	▲ 13.3	▲ 73.7	▲ 10.1	▲ 7.6
4	1,129	▲ 2.1	7.7	▲ 9.3	▲ 11.6	▲ 1.3	▲ 9.8	▲ 94.9	▲ 44.6	▲ 26.2
5	1,019	44.1	▲ 22.8	▲ 22.7	▲ 22.6	▲ 18.7	▲ 23.6	▲ 99.6	▲ 38.8	▲ 28.5
6	767	▲ 44.2	392.6	4.8	3.8	▲ 13.2	▲ 10.0	▲ 83.8	▲ 1.8	▲ 23.4
7	896	▲ 36.9	159.2	▲ 6.1	▲ 16.0	▲ 11.4	▲ 17.7	▲ 76.1	7.8	▲ 22.7
8	993	▲ 41.0	▲ 23.7	▲ 7.6	▲ 12.5	▲ 14.0	▲ 11.7	▲ 94.5	▲ 17.6	▲ 22.8
9	600	▲ 63.4	▲ 30.7	▲ 13.3	▲ 13.2	▲ 25.6	▲ 25.1	▲ 78.9	5.4	▲ 13.8
10	985	▲ 20.9	202.4	▲ 13.7	▲ 10.9	▲ 1.9	▲ 0.6	▲ 71.1	5.7	▲ 15.5
11	862	▲ 23.7	35.0	▲ 14.9	▲ 10.3	▲ 13.9	▲ 15.1	▲ 60.9	5.9	▲ 16.8
12	804	▲ 35.4	94.3	▲ 14.6	▲ 9.3	▲ 12.7	▲ 3.1	▲ 67.3	0.1	▲ 10.7
2021 1	798	19.1	186.3	▲ 11.7	▲ 12.0	▲ 11.5	▲ 11.7	▲ 80.4	▲ 18.0	▲ 6.7
2	-	-	P▲ 106.5	▲ 21.7	▲ 25.1	▲ 23.5	▲ 7.4	P▲ 76.5	▲ 19.9	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

## 沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2018	9,847.7	4.8	2,903.8	14.2	80.5	71.9	▲ 0.3	▲ 2.3	90.0	▲ 2.6
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	80.9	69.7	▲ 2.2	▲ 3.4	87.1	▲ 3.2
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.7	31.4	▲ 60.1	▲ 59.5	-	-
2020 1	727.8	▲ 3.4	193.5	▲ 15.8	78.0	61.3	▲ 4.5	▲ 0.4	83.9	▲ 5.7
2	590.9	▲ 23.5	61.0	▲ 74.6	71.2	62.6	▲ 17.6	▲ 13.6	92.0	4.1
3	396.3	▲ 55.2	2.4	▲ 98.9	35.9	34.3	▲ 57.6	▲ 53.5	75.7	▲ 13.3
4	77.3	▲ 90.9	0.0	▲ 100.0	8.2	6.6	▲ 89.4	▲ 92.4	70.7	▲ 18.4
5	44.0	▲ 94.7	0.0	▲ 100.0	3.4	1.3	▲ 96.9	▲ 98.6	67.9	▲ 26.8
6	144.1	▲ 83.4	0.0	▲ 100.0	8.3	11.3	▲ 88.7	▲ 85.5	73.3	▲ 15.0
7	277.3	▲ 71.2	0.0	▲ 100.0	24.0	29.1	▲ 75.9	▲ 68.1	79.7	▲ 15.3
8	202.8	▲ 80.1	0.0	▲ 100.0	19.1	19.7	▲ 81.6	▲ 77.4	76.1	▲ 13.3
9	227.6	▲ 71.9	0.0	▲ 100.0	18.7	27.7	▲ 77.2	▲ 56.4	70.9	▲ 17.0
10	341.2	▲ 59.9	0.0	▲ 100.0	32.7	43.8	▲ 68.0	▲ 37.2	72.1	▲ 16.3
11	381.1	▲ 52.3	0.0	▲ 100.0	44.2	48.0	▲ 63.7	▲ 19.7	75.6	▲ 10.9
12	326.2	▲ 56.8	0.0	▲ 100.0	38.8	36.6	▲ 63.8	▲ 38.4	72.1	▲ 7.5
2021 1	144.0	▲ 80.2	0.0	▲ 100.0	13.7	12.4	▲ 82.5	▲ 76.8	-	-
2	118.8	▲ 79.9	0.0	▲ 100.0	18.3	P13.3	▲ 77.8	P▲ 82.0	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2019年8月より調査先が25ホテルから28ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2018	44	12,416	99.5	0.9	3.4	2.3	1.31	3.6	28,543	175,452
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.34	3.3	31,126	148,698
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
2020 1	1	30	▲ 94.6	0.0	3.3	1.5	1.20	▲ 16.1	927	13,567
2	4	530	▲ 25.1	0.1	3.1	1.5	1.18	▲ 1.9	3,199	8,379
3	5	897	715.5	▲ 0.3	2.9	0.1	1.13	▲ 12.1	1,499	13,356
4	2	30	▲ 96.4	▲ 0.2	3.6	▲ 0.1	1.03	▲ 42.6	12,207	11,381
5	0	0	▲ 100.0	▲ 0.1	3.2	0.1	0.87	▲ 43.4	866	7,143
6	1	490	200.6	▲ 0.2	3.3	▲ 0.1	0.81	▲ 26.8	1,085	11,530
7	5	862	353.7	▲ 0.3	3.4	▲ 1.0	0.78	▲ 35.0	1,636	12,050
8	2	182	100.0	▲ 0.4	3.4	0.4	0.76	▲ 38.5	2,196	12,342
9	5	84	▲ 92.0	▲ 0.6	3.3	0.6	0.74	▲ 32.3	1,212	8,390
10	6	360	318.6	▲ 0.4	3.6	▲ 1.6	0.74	▲ 32.5	2,917	7,088
11	2	87	▲ 86.8	▲ 0.7	3.3	0.5	0.75	▲ 24.8	1,471	6,368
12	1	88	▲ 72.3	▲ 0.7	3.9	0.4	0.74	▲ 27.3	1,025	9,511
2021 1	5	312	940.0	0.0	3.9	▲ 0.9	0.77	▲ 17.7	1,516	6,543
2	6	454	▲ 14.3	▲ 0.1	-	-	-	-	1,338	7,295
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2020年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

## 沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2018FY	2,511	4,092	▲ 1,582	1.506	201	▲ 4.7	3,599	▲ 2.1	24	0.007
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2020FY	-	-	-	1.399	-	-	-	-	-	-
2020 1	89	551	▲ 461	1.465	16	▲ 9.7	291	▲ 6.1	2	0.007
2	114	223	▲ 108	1.462	14	▲ 14.4	215	▲ 19.5	0	0.000
3	224	215	8	1.458	17	17.8	315	32.8	3	0.011
4	360	130	229	1.455	15	▲ 4.9	291	▲ 13.1	3	0.010
5	98	185	▲ 87	1.441	12	▲ 32.3	223	▲ 37.5	0	0.000
6	543	210	333	1.427	17	14.4	300	32.0	0	0.000
7	212	271	▲ 58	1.419	15	▲ 19.9	284	▲ 16.8	0	0.000
8	202	203	▲ 1	1.412	14	▲ 4.2	260	7.8	0	0.000
9	201	237	▲ 35	1.410	13	▲ 23.0	234	▲ 21.2	0	0.000
10	203	315	▲ 112	1.406	13	▲ 18.1	211	▲ 20.5	1	0.007
11	250	243	6	1.404	14	5.0	269	28.1	0	0.000
12	486	179	306	1.399	13	▲ 19.8	218	▲ 24.5	0	0.000
2021 1	77	380	▲ 303	1.396	12	▲ 25.8	212	▲ 27.0	3	0.012
2	-	-	-	-	12	▲ 11.0	216	0.7	0	0.000
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2018FY	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2020FY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2020 1	49,516	3.8	38,818	3.2	49,939	4.0	8,460	▲ 0.1	1,182	▲ 0.9
2	49,804	3.8	38,935	2.9	50,212	4.2	8,450	▲ 0.2	1,183	▲ 0.5
3	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
4	51,610	4.7	39,068	2.8	52,012	4.7	8,877	3.8	1,350	14.9
5	52,787	7.1	39,387	3.2	53,209	7.1	9,272	9.0	1,488	28.6
6	54,208	8.4	39,584	3.5	54,629	8.4	9,718	14.9	1,783	54.0
7	54,155	9.1	39,788	3.9	54,653	9.2	9,966	18.0	2,025	74.6
8	54,764	9.4	39,955	4.1	55,252	9.5	10,084	19.3	2,211	90.4
9	54,537	9.2	40,043	3.9	55,062	9.4	10,166	21.1	2,362	102.1
10	54,812	10.2	40,029	4.0	55,367	10.4	10,228	22.1	2,452	108.6
11	55,404	10.3	40,106	4.0	55,939	10.5	10,266	22.8	2,516	114.5
12	55,474	10.7	40,259	3.9	56,097	11.1	10,392	22.8	2,606	120.8
2021 1	55,315	11.7	40,323	3.9	55,933	12.0	10,378	22.7	2,677	126.6
2	55,647	11.7	40,652	4.4	-	-	10,387	22.9	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。